

1. スタッフ構成(2025年3月時点)

- 村上 太一(主任部長、腎糖尿病センター副センター長)
2000年徳島大学医学部卒
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法
資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本腎臓学会腎臓専門医・指導医、日本透析医学会透析専門医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医
- 鈴木 紗代(部長)
2010年徳島大学医学部卒
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法
資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会透析専門医、厚生労働省臨床研修指導医
- 谷村 智史(医長)
2011年長崎大学医学部卒
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法
資格:日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会腎臓専門医、厚生労働省臨床研修指導医
- 高橋 謙作(医長)
2014年岡山大学医学部卒
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法
資格:厚生労働省臨床研修指導医
- 平田 隆(内科専門研修プログラム専攻医)
2022年大阪医科薬科大学医学部卒
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法
- 菱田 佑輔(内科専門研修プログラム専攻医)
2022年近畿大学医学部卒
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法

2. 実績

■ 疾患別入院患者数

疾患名(ICD10 準拠)	2021	2022	2023	2024
慢性腎臓病・腎不全	23	40	34	32
急性・慢性腎炎症候群	56	75	77	82
ネフローゼ症候群	36	34	17	15
末期腎不全	94	111	105	78
急性腎障害	10	7	12	17
SLE	2	0	1	0
シャントトラブル	59	68	73	81
血管炎	17	19	14	43
心不全	23	11	15	20
CAPDトラブル	7	6	4	5
感染症	-	19	32	23
その他	23	4	3	17
合計	350	394	387	413

■ 透析

	2021	2022	2023	2024
腎代替療法外来受診数	122	100	100	71
血液透析 導入数	98	97	97	66
腹膜透析 導入数	5	2	8	6

■ 腎生検

診断名	2021	2022	2023	2024
IgA 腎症	17	21	18	19
膜性腎症	6	6	5	5
微小変化型ネフローゼ	7	2	1	2
糖尿病性腎症	5	2	5	3
微小変化	1	2	1	1
腎硬化症	2	4	3	3
移植腎生検	4	7	5	4
半月体形成性腎炎	5	1	3	2
ループス腎炎	1	3	1	0
アミロイドーシス	0	0	2	2
間質性腎炎	4	1	3	3
IgA 血管炎	0	0	0	5
巣状糸球体硬化症	1	1	2	2
膜性増殖性糸球体腎炎	1	1	1	0
その他	6	4	4	6
合計	60	55	54	57

<扁桃腺摘出術およびステロイド・パルス療法>

IgA 腎症に対しては、腎炎の活動性を評価のうえ、完全寛解を目指して扁桃腺摘出術を行い、その後、ステロイド・パルス療法および経ロステロイド投与を行っています。若年者ではほぼ全症例に推奨しています。

<腎臓病教育入院>

糖尿病、メタボリックシンドローム合併による腎不全患者が増加しています。腎機能維持と合併症予防のため、食事療法に加え栄養指導、運動療法を組み込んだ教育入院を行っています。

3. 2025年度目標

- 尿所見異常から、糸球体腎炎、慢性腎臓病、急性腎障害、腎代替療法までの総合的腎臓病診療を発展させること。特に、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士を含めた総合的な生活指導の充実を図ります。
- 腎生検診断の蛍光抗体検査と光学顕微鏡検査は当院病理部門で行い、1週間程度でWHO分類の診断を行います。
- 腎代替療法は血液透析、腹膜透析、腎移植の3つの方法を説明・提案し、患者さんの生活スタイルに見合った治療方法を共に見つけていきます。
- 慢性腎臓病は心・脳血管病変をしばしば合併するので、循環器病センターや脳卒中センターとも連携し、総合的管理を行います。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 村上太一. 腹膜透析の特徴と選択適応～当院での療法選択の現状をふまえて～. 第2回愛媛県腎代替療法セミナー. 松山 (2024.1.23)
2. 宇都宮裕士、高橋謙作、山口純代、谷村智史、村上太一. 自己免疫関連血球貪食症候群合併が疑われた ANCA 関連血管炎の1例. 日本内科学会第130回四国地方会. 徳島 (2024.6.16)
3. 高橋健作、谷村智史、鈴木紗代、村上太一. 自己免疫関連血球貪食症候群合併が疑われた ANCA 関連血管炎の1例. 第54回日本腎臓学会西部学術大会. 姫路 (2024.10.5-6)
4. 福田萌々子、村上太一、菱田佑輔、平田隆、高橋謙作、谷村智史、鈴木紗代. 下腿浮腫を契機に診断された IgD-λ 型 AL アミロイドーシスに対して自己末梢血幹細胞移植を行い血液学的寛解にいたった1例. 日本内科学会第131回四国地方会. 松山 (2024.12.15)